

# ISO事務作業を大幅削減

## エコヒルズがソフト

### 環境マニュアルも不要

エコヒルズ(東京都港区、03・3568・7301)は、ISO14001などマネジメントシステム規格の認証取得や維持管理に必要な事務作業を大幅に削減できるソフト「これだけISO管理ソフト」を開発、九日から販売開始した。目標管理や文書管理など、ソフト内の様式に従い必要なデータを入力するだけで、ISOにおいて求められる要求事項を満たすことができるため、ISOに関する専門知識がなくても維持管理が可能。環境マニュアルを始め、従来必要だった大量の書類を作成する必要がないという。ASPサービスで展開し、価格は月間10万円。初年度100件の受注を目指す。



「簿記の知識がなくても経理業務が可能な会計ソフトのイメージだ」。同社の田宮嘉一社長はこう話す。

同社はISO認証取得後の「ISO事務局」の代行といった維持管理業務に関するコンサルティングを展開。今回開発したソフトは「今まで一〇〇社以上のコンサルを通じて培ってきたノウハウの集大成」(同氏)と強調する。

ソフトのトップ画面には、マネジメントシステムに関する活動計画表を設定。各部門の目標や活動内容のほか、責任者、期日、様式などシステムの目標管理や実績管理などに必要なひと通りの様式が用意されており、その運用管理状況も関係者全員が共有、ひと目で分かる仕組み。担当者が代わる場合にも、引き継ぎの手間がほとんど必要ないという。

特に、このソフト全体でISOの要求事項を満たすため、例えば環境マニュアルの作成も不要。文書間の重複や審査などの際にその不整合を指摘されるようなこともなくなるという。

運用管理計画に遅れが生じていけば、担当者宛に電子メールで知らせる自動督促機能も付いている。文書の作成、改定、電子承認、配布、閲覧、

検索など記録管理にも適しているという。

同社のコンサルタントが最短一日でシステム構築を完了するサービスも併せて展開。ソフトは現行の環境ISO向けに加え、将来的には品質や情報安全など各種ISOマネジメントシステム向けのほか、内部統制といった幅広い用途にも対応できるようにしたい考え。

田宮氏は「ISO維持管理に必要な事務作業に捕らわれずに本来の改善活動に集中できる。中小企業の認証取得や大企業のサプライチェーン管理、ISO統合認証などにも有効だ」としている。